

# 市政だより



皆様、こんにちは。日頃より市政に対し温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。令和7年9月定例会の概要をお伝えするとともに、裏面には地域のつながり作りを目指した、6月定例会の私の一般質問を詳細にご報告させていただきます。目を通していただければ幸いです。

## 一般質問の概要

今回は、市民の皆さんの暮らしや未来に深く関わる3つの大きなテーマについて、市の現状と今後のビジョンを問いました。

**質問1：『市民向け講座』を、もっと効果的にするために**

「開催が目的」になりがちな市のセミナーを、どうすれば市民の「行動変容」に繋げられるか。ニーズの捉え方から、心に響く「伝え方」、申し込み方法の改善まで、具体的に提案しました。

**質問2：『行政のAI活用』戦略と人材育成について**

令和7年度の本格導入を目指す生成AI。業務効率化の鍵ですが、「AIに使われる」人材を育てては本末転倒です。管理職や新人職員の育成計画について、市のビジョンを問いました。

**質問3：『教育現場のAI』子どもたちの未来のために**

市内中学校の先進的な授業を例に、AI時代を生きる子どもたちの「考える力」を育むため、教育委員会が示すべき方針と具体的な活用策について質問しました。

皆さんの税金がより効果的に使われ、市民サービスが向上するよう、しっかりと質問しました。

ぜひ、尾張旭市議会でも検索してインターネット録画配信にてご覧ください。

詳細と質問に対する思いについては、次号にて紹介させていただきます。

市政に対するご意見やお困りごとなど、お気軽にお寄せください。

☎070-8411-8669

かつまたしゅうじ

検索

## 9月定例会のトピックス

### ・公立陶生病院に2億1,400万円の追加負担

資金不足のために、尾張旭市、瀬戸市、長久手市で追加負担をすることになりました。公立病院は全国的に苦境に立たされていますが、経営努力により状況が改善している公立病院も存在します。公立陶生病院も経営改革をするように、市から働きかけてほしいと強く要望し、補正予算案に賛成させていただきました。

### ・公共施設の利用料が値上げに

長年にわたって利用料が見直されてこなかった、公民館などの利用料が値上げされることになりました。施設を利用する方と利用しない方の公平性を考えて、賛成をさせていただきましたが、値上げ分は利用者へのサービス向上に活用するよう、要望しています。

## その他のトピックス

- ・来年1月から、市役所の開庁時間が短く（9時～17時）なりますので、ご注意ください。
- ・来年度に「労災病院西交差点」の拡幅工事が行われる予定です。労災病院から西に向かう渋滞が大幅に緩和される予定ですので、ご期待ください。

## かつまた修二 PROFILE

プロフィール

- 昭和48年生まれ（現在52歳）
- 平成11年 名古屋大学医療技術短期大学部  
理学療法学科卒業  
総合病院の理学療法室にて勤務
- 平成12年 訪問看護ステーションの理学療法士として  
各地の地域医療に尽力
- 平成14年 結婚と共に尾張旭市平子町長池上に居住
- 平成30年 働きながら放送大学卒業
- 令和5年 尾張旭市議会議員初当選

# 6月定例会にて、誰も孤立させない支援体制の構築を求めました！

## ● なぜこの問題に取り組むのか？

私の専門である理学療法士やケアマネジャーの現場では、例えば「要介護の親と、ひきこもりの子が経済的に困窮している」といった、介護・障がい・貧困など複数の課題が複雑に絡み合うご家庭に数多く出会います。こうした困難な状況は、市の担当課がバラバラに対応する縦割り行政では解決できません。分野の垣根を越え、市役所全体で一人の市民を支える「包括的な支援体制」の構築が急務です。

そこで今回、市の総合計画にも盛り込まれたこの支援体制の整備について、具体的な進捗と全部局を巻き込んだ連携のあり方を質しました。

### 1. 誰もが相談しやすい「総合相談窓口」の進捗は？

以前から設置を求めていた総合相談窓口について質したところ、市は「スペースや専門人材の確保が困難」との理由で、物理的な一元窓口の設置は見送ったとの答弁がありました。

その代替策として、今年4月に「福祉政策課」と「福祉課」を統合し、司令塔の役割を担う「地域福祉課」を新たに設置したとのこと。この新組織が中心となり、今後の支援体制構築を鋭意進めていくとの前向きな言葉をいただきました。

### 2. 「全庁的な連携」に向けた具体的な取り組みを要求！

この問題は福祉部局だけの仕事ではないと、私は強く訴えました。そこで、市民生活に密接に関わる以下の点について、部署横断での具体的な連携を求めました。

**居住支援：**高齢者や障がい者が住まいを確保できるよう、福祉部局と住宅部局（都市計画課）の連携強化を求めました。市は今後、他自治体の先進事例も参考に連携を図っていくと答えました。

**水道・税の滞納：**料金滞納の背景にある生活困窮にいち早く気づき、支援につなげるため、担当課と福祉部局の連携強化を質しました。市は、すでに情報提供などの連携を行っており、今後も継続していくと答弁しました。私は、相談をためらう方もいるため、本人同意のもとで直接福祉につなぐ、より積極的な連携を要

望しました。

**人事・組織：**この大きな事業を継続的に進めるため、担当者が短期で異動することのないよう、計画的な人事配置を求めました。

### 3. 現場の声を施策に反映する仕組みを！

日々、市民と向き合う地域ケア会議などで「地域に必要な支援」が議論されても、それが市の施策にどう活かされているか現場には見えにくいのが現状です。この点の改善を求めたところ、市は「会議で把握した地域の課題を、高齢者保健福祉計画などに反映できるよう取り組んでいきたい」と答えました。私は、現場のやる気を引き出すためにも、市としての想いや結果をしっかりとフィードバックするよう重ねて要望しました。

## ● 今後の展望

今回の質問を通じ、市から「地域福祉課がイニシアティブを発揮して、鋭意、重層的支援体制整備事業に取り組んでまいりたい」という、事業実施に向けた大変前向きな答弁を引き出すことができました。

制度のはざままで苦しむ方を一人でもなくし、誰もが安心して暮らせる尾張旭市を実現するため、この重要な事業が着実に前進するよう、今後も議会で厳しく進捗をチェックし、全力で取り組んでまいります。

一般質問後、福祉文教委員会で、先進的な取り組みを行なっている焼津市に視察に行ってきました。今後の取り組みに活かして参ります。

